

第4回そだつ部会会議録

日 時	2016年10月4日(火) 13:30~15:30
場 所	地域連携交流施設
テ ー マ	1、参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日の調整
内 容	<p>1、参加メンバー：8名</p> <p>2、協議課題</p> <p>○かけはし CAFÉ</p> <p>開催時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に「かけはしCAFÉ」の開催でいいのか →播磨町内は、家庭訪問は5月にある →東はりま特別支援学校の家庭訪問は、新1年生を対象で5月にある。その他の学年は、学校での懇談となる →先生と一緒に書いてもらったら、身近になる。園や学校に協力を依頼してもいい →現在の先生に書いてもらうなら、年度末ぎりぎりだと時間がないかもしれない →教育委員会のサポート委員会で、協力を先生に依頼できる時期がいい →1月23日~27日の午前中で、幼稚園・保育園の行事のない日に設定 <p>○支援をつなぐ (つなぐこと・場所)</p> <p>東はりま特別支援学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任は学級をもって、生徒を見る ・コーディネーターは、担任を持たず、学校の中で困っている生徒がいるところに支援を入れる。学校のクラスだけにとどまらず、病院や地域等につなぐ。困っている生徒に適切な支援が届くように考える ・学校外へは、地域の小学校などへ依頼があれば講習会を開催する。困っている地域の先生へ手助けをする <p>2月位に、進学先へ体験入学ができたらいい。現在の先生と一緒に行く</p> <p>学校紹介をオープンスクールでやっているが、地域の学校への進路状況の説明</p> <p>入学予定の子どもの現在の人間関係などの配慮事項の引き継ぎの徹底</p> <p>子どもの支援について保護者と教師の連携を更に深くする</p> <p>より活用してもらうために、保育園や幼稚園への教育相談の広報</p> <p>「かけはし」を教師から、保護者へ直接渡してもらえば活用の方が広がるのではないか</p> <p>はまなす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1第一金曜日に会合。情報交換や話し合いなど ・定例会以外は時間がある時に希望者が集まって、パンづくりや就Bにご飯を食べに行く ・11月の大中遺跡まつりで、お店を出している ・12月は、毎年クリスマス会 <p>はまなす会員同士の情報交換が徹底していない</p> <p>播磨町社会福祉協議会</p>

- ・町から委託されている「生活訓練事業」7～8月開催 全13回小1～6年が対象
レクリエーション・学びの場・交流の場
- ・継続10年で当初はスタッフの確保が問題だったが、現在はスタッフが増えている
- ・学生スタッフ、ボランティアが重要だが、卒業や実習で途切れがち

大学の教授・ボランティアサークルとの連携

日々の支援について、町内の現場の先生や支援者から気軽に情報をもらえるといい
先輩保護者などとの交流会等

子育て支援センター

- ・北部子育て支援センターと南部子育て支援センターがある。対象は就学前の親子
- ・南部支援センターは児童館の役目もある。1時から幼稚園児、3時から小学生の利用可能
- ・親子サロンの部屋は9時～5時まで。自由に親子が出入りできる
- ・子育て相談、心理士による心理相談
- ・1年を通した季節の行事、子育ての講座、子育てサークルの育成・支援
- ・ファミリーサポートセンター事業 飲食禁止 2～3時間見守り・送迎など

就園前の相談が多く、個人情報や園に伝えることができないので、センターも園ももどかしい
と思っている。本人の許可があれば情報を伝えたい

ソワサポート

- ・職員の研修、個別の支援計画の確認、保護者の面談・相談・学習会
- ・親の勉強会を開催
- ・講師を招いて講演会、保護者との座談会を不定期に開催
- ・自立支援協議会の啓発活動に参加し、より地域に根ざした活動を他の機関と一緒に関わる

相談支援事業所は、担当者会議や支援者会議を開催し、学校・園と目標を共有し理解すること
でお互いが楽になれるシステム作りが機能すればいい

事例検討・学習会を行っているが事業所のつながり以外で広がっていないので、もっと地域
でそういう事ができたらいい

アエソン

- ・ランチ会
- ・臨床心理士による個別相談
- ・はりまデザインラボ定例会参加
- ・専門書貸出
- ・権利擁護まちづくり委員会参加
- ・相談支援事業所・地域活動支援センター受託

県立はりま特別支援学校と播磨町内の学校園との連携

就学サポート委員会での情報などを担当者やコーディネーター止まりでなく、学校園に広め
てほしい

「かけはし」の活用

相談支援事業所・行政・教育関係機関との連絡会

福祉サービス以外の社会資源の情報共有の仕方の工夫

3、その他

○はたらく部会

- ・はたらくみんなのお茶会：7月30日（土） 参加者 13名
- ・金融教育セミナー：7月30日（土） 参加者 38名（本人向け 24名 保護者・支援者向け 14名）

○くらす部会

- ・親子宿泊体験会：9月2日（金）～3日（土） 参加者 親子5組 スタッフ6名
- ・宿泊体験：①10月7日（金）～8日（土）男性3名
②11月25日（金）～26日（土）女性1名予定

○推進会議・全体会

- ・全体研修会：7月28日（木）参加者 113名

※お手伝いいただきありがとうございました。

- ・全体会ワークショップ

第1回 9月27日（火） 参加者 31名

第2回 10月25日（火） 13：00～15：30 播磨町役場ABC会議室

- ・第2回全体研修会：平成29年1月16日（月） 10：00～12：00

播磨町中央公民館大ホール

講師 同志社大学 立木茂雄先生

内容 防災について

4、次回開催日の調整